

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームの理念と行動指針の8カ条を意識している。またユニット目標として掲げ入居者のケアに繋がるよう意識して取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍となり、地域との交流が減少していたが、地域との関わりを意識しながら係が中心となって入居者と地域の繋がりを継続して持つ事が出来ている。地域の方との共同作品や公民館に作品展示を行い交流を実施した。	今年子供神輿を17:30から開始して地域を回る予定としている。みのりの里にも神輿を担いでいただく予定としている。自治会や子供会が今後どの程度の交流を検討しているかは分からないが、今までと比べても規模は縮小していくと思う。 地域の人に知ってもらう事が大切。回覧を回しているが不定期でもいいので法人のお知らせを流してもよいと思う。定例会があるまでに公民館に報告し必要枚数を聞いて検討していただきたい。小学校の回覧や養護学校の回覧も回ってきている。毎月27日までに教えてもらえれば可能となっている。公民館祭にも参加をしていく。オレンジカフェも広げて行っている所もある。作品を作って公民館に飾る。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況報告は出来ているが、事故報告がメインになってしまう事があった。意見があった際にはサービスの向上に活かし職員に情報の共有を行っている。	施設見学もさせていただき、分からない事があればお互いが聞いて確認をしていただきたい。ここへきて運営推進会議の場でも交流をしていきたい。その時の行事報告だけではなく、今後の予定も含めて報告内容に記載してほしい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議時に市職員に参加していただき、グループホームの情報を伝え意見をいただくようにしている。また、確認が必要な情報や事業所に関する相談があれば、市の担当者に連絡し確認を行っている。	小さな事でも包括または市町村に相談をしていただきたい。現状の把握が大事な事なので、何かあれば情報を共有していきたい。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、法人内で身体拘束の研修を実施しグループホーム職員も参加している。身体拘束について理解し対応できている。玄関の施錠など職員に対し指導を行い、帰宅願望や興奮時においても安全なケアに努めるよう取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束への意識は研修を通して正しくできている。実際のケアにおいても拘束にならない様に努めている。入居者の行動に拘束ではなく自由に行動が出来る様なケアに努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、法人内で虐待の研修を実施している。研修内容をしっかりと理解し、現場で目撃したり聞いたりした場合がもしあった場合には報告・相談を早期に実施し防止に努めるよう周知している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同様で虐待についても毎年研修を通して学んでいる。虐待の発生とないように防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を活用されている入居者もおられるが、学ぶ機会が持っていない。カンファレンスを通して入居者の情報を共有しているがうまく活用できていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には入居者や家族等に対して、不安や疑問点を聴きながら対応出来ている。十分な理解・納得を図り説明を実施し契約の締結や解約等取り組んでいる。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、ご家族に対してアンケートを実施している。また意見箱を設置して広く意見を聞く様にして返答も掲示している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族へ毎年満足度アンケートを実施している。意見箱の設置も実施している。投函された意見に対しては法人内に掲示し回答も行っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム会議を毎月1回実施し、事業所の問題や職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。反映に関しては、情報共有は行っているがこういった形で反映していくのか課題としている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回管理者と職員個々が面談を実施し話をする機会を設けている。また、個別で必要時にも面談を実施し指導や相談を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との面談も実施し要望に対して、改善が必要な事はユニットでも検討し実施へ繋げている。やりがいや向上心が持てるように職場環境の改善に努めている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者と主任と職員の力量やユニットに関する問題点や課題について随時話し合いを実施している。法人内外の研修についても参加してもらい育成に繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりのケアの力量の把握を行っているが指導においては、職員のバラつきもみられ統一した指導が行えるよう最新のケア方法などマニュアルの更新を行っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり同業者との交流は持っていない。外部への研修への参加は実施している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活を意識し入居者同士の関りも重視している。お互いが話す機会や一緒に取り組める行事やイベントを行い関係性が築けるよう取り組んでいる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナによる制限があった為に地域に出掛ける事が少なかったが、ご家族との面会や手紙・電話等で関係性を保っている。入居者によっては交流が少ない方もいたが、必要時に応じて連絡を行った。	LINE でタイムリーに情報共有はできているのでありがたいと思っている。電話も密に連絡できている。面会については、適当な時間だとは思っている。介護度も高くなっている方もおられるため、意思疎通を図る上でちょうどいい時間ではないかと思っている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの暮らし方や生活環境に応じて共同生活を送っていただいている。ご家族とも相談を行いなら環境も整えている。本人様の帰宅願望時においてはうまく対応できていない事がある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族にも確認をしながらチームで入居者について話し合う機会を設け取り組んでいる。話し合った内容をケアに反映させケアプランとして取り組んでいる。	コロナで関わる事が少なくなり、現状がわからない事がある。現状としては現状把握が難しい為、いつもおなじような意向をお伝えする事となっている。ケアプランはご家族と一緒にプランを立ててサービスを提供している。アセスメントをとってご家族の意向を確認している。プランで	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画においては制度上の流れができてきている。チームとしてモニタリングや話し合いのもと実施できている。ご家族に説明を行い同意を得ている。実地指導を長寿社会課としていく事もあるが、個別的なプランとなっていない事が多い。家族とのツールの一つとして普段の様

					困っている事があれば相談してほしい。アセスメントをしっかりと取る事が大事となる。予防だと細かく記載する事があるので、目標をできるだけ具体的な目標にしていく方がモニタリングをする時もその人にあった内容で出来るのでアセスメントをしっかりと取る事が大事となる。		子どもっと分かる様なプランとなってほしい。気づきを寄せ合って話し合いをするとういと思う。本人様がどうなったかというモニタリングをしてほしい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々のケアについて日中・夜間共に関わった職員が介護記録を残している。職員間で情報をもとに話し合いを実施しケアに活かし次回のケアプランの更新に活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の様子を記録に残している。介護計画に活かせるように入居者の取り組み内容を記録し、記録した情報をモニタリングにも活かしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナの影響もありグループホーム内では行事の実施や法人内での事業所間の交流を実施している。地域行事にも公民館祭への作品出展や今年度は地域の搜索訓練への講習を実施している。	認知症の方は調子がいいときと調子が悪い時があるように思う。認知症の方の搜索訓練を実施している。みつけた時にどうやって接していく必要があるのかを話をしている。11月におこなっていく。県と河岡が今後は11月5日に行っていく予定となる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり地域との関わりが直接持てておらず実施できていない。地域の資源の把握をもっと行う必要がある。	入居者の方は経験をしている事が多くあるとおもうので、今は核家族が増えているので昔の事などを知ってもらう為にもコミュニティとして参加していただければと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	受診は、ご家族の希望に合わせて主治医を設定している。往診にこられている主治医とも関係を築き、入居者に状態変化があった際や相談を行い支援出来ている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時においては、病院関係者と適時情報共有を行い、入院中の状態確認や退院等について相談に努めている。事前に病院関係者との関係づくりとしては実施できていない。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時においては、速やかに情報共有を行い、状態について確認し相談を実施している。病院関係者との関係づくりについても退院前のカンファレンスや本人様の状態の確認の為病院の看護師などの専門職からも話を聞いて連携に努めている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	終末期の在り方や重度化した場合における指針を整備し看取り期になった場合などはご家族に十分に説明し支援に取り組んでいる。またチームケアとしてもユニット職員で話し合いを行いケア方法について随時確認している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度においても看取りケアを実施しご家族様にも主治医から説明を行い看取りケアへ移行された。終末期の在り方についてもご家族の気持ちに寄り添いチーム内でも本人様に対するケア方法について随時確認し情報共有に努めた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時の連絡体制の把握や早期に異変に気付けるよう些細な事でも主治医へ報告・相談を行っている。応急手当の研修も毎年実施し初期対応の訓練を実施している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回防災訓練を実施している。日中・夜間を想定し避難経路の確認や消化手順や消防への連絡方法の確認をしている。	現在は地区ではしている所としていない所がある。春日の場合は団体を立ち上げている。防災無線があれば事業所につけてもよいのではないかと。防災ラジオの設置も検討されてみてはどうか。事業所にも案内をしている。米子市としても避難訓練に参加をしたりもしている。運営推進会議のメンバーも参加してみてもよいかもしれない。避難訓練時には抜けてしまう事もあるが、職員でも専門性の高い職員の育成も必要と感じている。地域の方に参加してもらえようとしていくとよい。地域の方も一緒に考えていく必要がある。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	大掛かりにすると事前の準備も必要となる。春日地区でも防災訓練をしている。地域と行うにも、もしお金がかかる事であれば、前年度の10月までには準備が必要となる。長期的な計画をもって行わないといけない。米子市でも訓練を行ったが役割を大事にして誰もが対応できるようにしなければいけない。普段から意識をもって出来ているかを確認していく必要がある。訓練だけで終わらないように努めていく必要がある。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の危険・禁止行為一覧表を作成し内容を周知している。言葉かけについてもスピーチロックとならないよう研修を通じて学び実践している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スピーチロックとならないように心掛けているが、つい言葉として声を掛けてしまっている事がある。一人ひとりの尊重を行い、丁寧な言葉掛けが常に意識できるように実践する必要がある。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホームの役割を考え自立支援を実施している。職員都合とならないように入居者の意向を確認しながら支援を行っている。職員数が			

				少ない日にはうまく入居者と関わる時間がもてない事がある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者に調理の簡単な盛り付けや準備など出来る方には職員と一緒に取り組んでいる。誕生日の際には誕生日メニューとして楽しんでいただいている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事のメニュー書きから盛り付け、食器の片付けも実施してもらっている。役割を持って取り組み日課として出来ている。今後は外食なども実施し食事への関心を持っておいしく食べる事も支援していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養バランスについては、法人の栄養士とも相談しながら提供している。1日の水分摂取量を把握し水分が少ない方には職員間でも情報共有を行い、水分が確保できるよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを実施し、出来る方にはご自分で歯磨きやうがいを実施していただいている。介助が必要な方に対しては介助を行い口腔内の清潔に努めている。また口腔内に異常があった際には法人の歯科衛生士に相談し必要時には受診をしていただいている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアを毎食後実施できている。定期的に歯科衛生士からの助言をいただきながら日々の口腔内の観察を行い早期に異常を発見する事で口腔内のトラブルに気づく事ができるようにしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に基づき、職員間で情報を共有し排泄ケアやトイレ案内を実施し自立に向けたケアに取り組んでいる。便秘予防の為運動にも取り組む事や主治医に相談し便秘にならないよう下剤等の調整も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便秘傾向にある方は下剤を内服する事が多いが定期的な排便の確認は行えている。下剤を使用しなくても排便が出る様に運動回数を増やして対応している。今以上運動量を増やせない方もいる為、主治医と相談をして調整を行う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の希望に合わせて時間を心がけているが、介助または見守りが必要な為、どうしても職員の動きに合わせる必要もある。入居者の了解を得ながら入浴を実施し、必要な方には同性介助を行い支援している。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼夜逆転とならないように、入居者 個々の状態に応じて休息していただ いている。日中、傾眠がみられる方 はベッドに案内し休む時間を設けて いる。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	既往歴と内服薬についてしっかりと 理解できていない事がある。誤薬が 起きないようにマニュアルの遵守を 行っている。服薬に関して何か変わ った様子があった際には主治医へ報 告を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬が起きないようにマニュアルの遵守 が行われている。薬の副作用や用法、 用量については職員がすぐに確認が 出来る様に内服薬のチェック表一覧として ファイルに綴じている。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かし た役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	ご家族から情報収集シートの記入 をしていただき、生活に活かしてい る。入居者の好きな事については介 護計画にも記載し取り組んでいる。 気分転換があまりできていないと感 じる。	コロナで出来なかった事もあったが、す こしずつ地域の交流も増えてきている。 法人でもごちゃまぜの交流を増やしてい るところである。夏には地区の子供神輿 にも来てもらっている。8月は花火・9月 は敬老会を実施している。加納様より、 入居者の情報収集については、ここで入 居されてからの生活の様子をアセスメン トを行いご家族にも伝えてほしい。いろん な発見もあると思うのでご家族と情報交 換を続けてほしい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	計画的に支援できている事もある が、その日の希望に応じて実施でき ている事は少ない。苑内の散歩や日 常支援は行えているが、コロナの影 響もあり地域へ出掛ける事が少な い。	外出支援についても感染対策を行いな がら実施している。11月にこれから計画 をしていく予定としているが文化祭のよう なものを行っていく。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力 に応じて、お金を所持したり使えるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の中にはお金をご自分で管 理する事で安心されている方もおら れる。ご家族にも自己管理の注意点 も情報共有しながら管理していただ いている。事務所内では小口現金を 管理し使用する際には職員で管理し 毎月ご家族に使用用途を報告してい る。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご自分で携帯電話を管理されている方もおられ、ご家族と好きな時に連絡を取られている。また施設のタブレットを使用しオンライン面会やLINEの活用により写真などを見ていただいたりやりとりをしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が居心地がよい、個々に応じた生活空間や環境に配慮している。個々に応じて車椅子や歩行器の使用をしていただき、安全にも配慮し動線にも注意しながら環境を整えている。感染対策として設置しているアクリル板について入居者によっては混乱を招いているように感じる。ユニット内は季節感を取り入れているが、もっと取り入れられるように今後も取り組んでいきたい。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アクリル板も今は無くしてある。コロナ禍以前のような環境に戻っている。ユニットの外にも季節が感じられるように花を植えたり雰囲気づくりをしている。園芸作業を行う事で季節の変わり目を感じる事が出来るように支援をしている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	積極的にお手伝いをして下さる方もいるが、認知症の低下から、混乱される方やここがどこなのか、なぜここにいるのか理解できていない方もおられる。本人の意向を十分に引き出せる関りが持てていない。本人様が話される内容から希望された事に対しては支援を実施できている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の習慣は、体調の良い時には行えている。友人との面会や親戚との電話連絡など支援を行っている。情報として今までの生活歴は把握しているが、活用できていない事がある。現在の様子に合わせてグループホーム内での生活に合わせた支援を実施している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調を崩された場合には、ご家族や主治医・看護師と相談を行いケアが支援できている。 受診に関しては、最近の様子を主治医にお伝えしている。安全面について、転倒リスクのある方もおられ、職員間で情報共有を行うが、本人様の理解が得られない事もあり環境面を整え支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ちょっとした体調変化があった際にもご家族には報告し早期に対応ができるように支援している。状態変化があった際には職員間で情報共有を行い必要時には環境面の配慮にも注意している。主治医にも報告・連絡・相談を早期に実施し指示をいただくように配慮している。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様のペースに合わせて生活していただいている。行動が危険な場合には職員が対応し、気分転換などの支援もおこなっている。ホールで他の方とあまりふれあいが無く、居室で休まれる事がある。認知面や身体面での低下により体調に配慮する事が増えている。本人様の体調に合わせて支援を行っている。 落ち着いた環境となるよう配慮している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特にこだわりがない方もおられるが、仏壇や本人様が好きなお花の写真や家族の写真などが飾られている方もおられ大事にされている物があれば居室で管理されている。 ご自分で管理が難しい方については、居室には物品を少なく環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内については、ご家族とも相談しながら必要な物を環境整備させていただいている。環境としても馴染みのものを持参していただき、入居者毎で環境を変えている。他の入居者の居室に入ろうとされる方もおられるが、入居者自身も自分の部屋であると認識がもてるように環境を整えている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもあり思う様に外出支援が行えていないが苑内で行う行事やイベントには参加されている。ドライブなどコロナ禍でも行える外出は参加されている。 本人様より直接訴えられる方は少ないが、職員から声掛けし促す事で行事や散歩・外出をされて楽しまれている。	近くに出掛けて花をみたり食事にいったりされている事業所も増えている。敬老会も今後あるとおもうが職員も考えながら実施している。コロナも落ち着けばご家族も参加されてもいいと思う。 神社めぐりもしてもよい。地区の住民では、春日、みのかや地区の方が岡山まで行かれた事もある。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今まで続けられてきた事は、毎日のようにお願いし本人様も自分の役割だと感じていただいている。無理のないように行える事は実施していただいている。 本人様の状態に合わせて、役割を持って洗濯物干しや食事の盛り付けなど生活をする上で実施できる事は職員も支援しながら実施している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	食事のお手伝いをしている時などいきいきとされている事もあるが会話が少ない方もおられる。耳の聞こえが悪かったり、長時間の離床が負担となってしまう方もいる為、うまくコミュニケーションが取れていない。 入居者同士でソファに座り会話をされたり、新聞の内容について他の方とお話をされる場面もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の役割を把握しながら活動の場面を増やしていく必要がある。コロナ禍で活動の制限があったが徐々に緩和されてきている為、普段の関りを多く持てるようにしていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ④ほとんどできていない	コロナ禍でもあり近隣や地域の人々と交流する事が少なく行えていなかった。地域活動係が中心となりコロナ禍でも地域との関わりが持てるように支援は続けていた。 コロナ禍前は公民館行事に参加されていたが、コロナ禍となってからは近隣や地域の方々との関わりが少なく持てていない。	現在は少しずつ交流がもてるようになってきている。抹茶ボランティアにきていただいたり地域の方との関わりが出来てきている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	体力の低下や状態の変化に合わせて十分な対応が困難になってきていると感じる事がある。職員とは、意思疎通が図れる事もあり一緒に楽しむ事もあるが地域の人々との交流が少ない。	認知症カフェなどもすこしずつ増えてきている。また地区のクラブ活動の状況はどのようになっているか。 以前同好会に参加していただいた事もある。また同好会の代表者に連絡をしていただければ、参加は可能だと思う。今	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では地域との交流があまり行えていなかったが、コロナが5類となつてからは徐々に活動が増えている。今後は、地域へ出掛けていく事も増やして地域の関りを増やしていく。

			職員との交流に関しては、日々行えている。グループホームでの生活には慣れておられるが、より安心した日々を送っていただけるよう今後地域との関わりも含め支援を行う必要がある。	後も以前のように関わりがあったので連絡してもらえれば大丈夫だと思う。		
--	--	--	--	------------------------------------	--	--